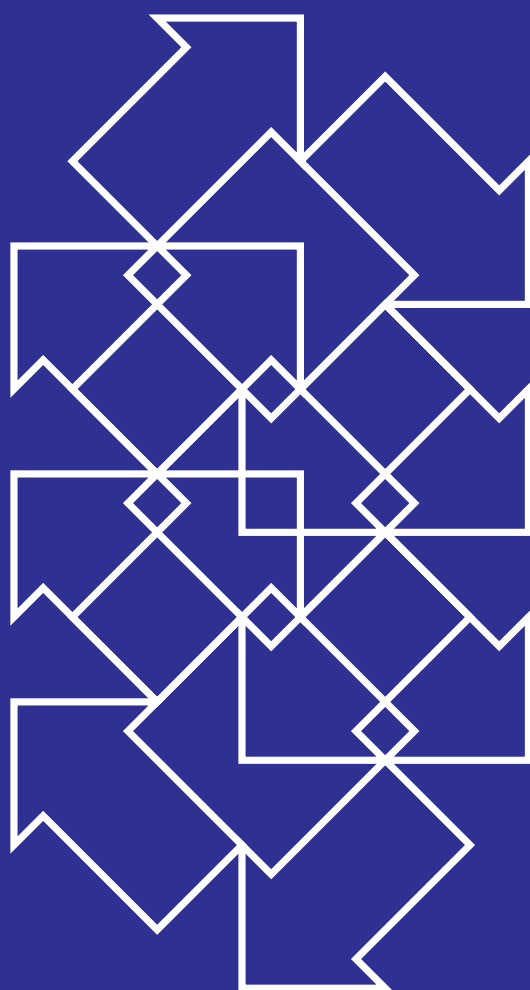


京都大学研究資源アーカイブ

アーカイブ資料ガイド



このガイドでは、京都大学研究資源アーカイブがこれまで整理してきた資料を紹介し、資料概要の項目は、アーカイブズの記述標準である米国のDACS(Describing Archives: A Content Standard)に準拠しています。

項目名	資料番号(DACS 2.1) …………… アーカイブ資料を識別するための番号
	所蔵部局(DACS 2.2) …………… アーカイブ資料の現物を所蔵する部局等
	資料年代(DACS 2.4) …………… アーカイブ資料が作成・収集された期間
	数量(DACS 2.5) …………… アーカイブ資料の数や大きさ等
	出所・資料作成(DACS 2.6) …… アーカイブ資料の作成者や収集者
	目録作成(DACS 8.1.5) …………… 資料目録の作成年と作成者

※「利用条件」「資料編成」等は、ウェブサイトでご確認ください

京都大学研究資源アーカイブ (Research Resource Archive, Kyoto University) とは？

京都大学研究資源アーカイブは、本学における教育研究のなかで作成・収集されたあらゆる資料群を「アーカイブズ」として永続的に保存し、学内外の教育研究で利用可能とする取り組みです。

学術研究では、野帳、調査写真、調査計画書、実験ノート、研究ノート、講義ノート、研究会レジメ、事業報告書など、多様な資料が生み出されます。学内の各部局が所蔵するこれらの資料群全体を、京都大学研究資源アーカイブのアーキビストが整理します。

整理で作成したアーカイブズの資料目録(finding aids)やデジタル画像は、京都大学デジタルアーカイブシステム(Peek)から公開されます。公開された資料は、新たな教育研究のために利用することができます。

京都大学研究資源アーカイブ
<http://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/>



京都大学デジタルアーカイブシステム (Peek)
<http://u.kyoto-u.jp/kurra-peek/>



京都大学の教育研究で 作成・収集された資料群



新たな教育研究で利用

※利用には申請が必要です

- 論文
- レポート
- 学会発表
- 授業
- 講演

京都大学研究資源アーカイブの歩み

- 2005年4月 尾池和夫総長へ「京都大学フィールド映像アーカイブセンター(仮称)趣意書」提出
- 2008年9月 「研究資源アーカイブWG」開催(～2009年3月)
- 2008年11月 稲盛財団記念館に「映像ステーション」開設
- 2009年1月 「研究資源アーカイブ運営検討会」設置
- 2011年3月 研究資源アーカイブ公開開始(「京都大学デジタルアーカイブシステム」一般用公開)
- 2016年4月 総合博物館へ「映像ステーション」移転
- 2019年4月 「京都大学デジタルアーカイブシステム」新システム公開

	1900	1950	2000
1 京都帝国大学文学部考古学教室ガラス乾板写真：石舞台古墳発掘，1933-1935		●	
2 京都帝国大学文学部考古学教室16mmフィルム：石舞台古墳発掘，1933-1935		●	
3 京都大学カラコラム・ヒンズークシ学術探検隊地質班関係資料，1955-1956		●	
4 宮本正太郎資料：火星スケッチ，1955-1976		—	
5 東方文化学院京都研究所調査映画フィルム：北支遊記，1934		●	
6 東方文化学院京都研究所調査映画フィルム：響堂山と龍門，1936		●	
7 東方文化研究所調査映画フィルム：雲岡石窟，1938		●	
8 「近衛ロンド」録音テープ資料，ca. 1973-1977			●
9 京都大学農学部造園学研究室資料：庭園等図面，1895-1974	—	—	
10 京都大学農学部造園学研究室資料：風景スライド写真，ca. 1950-1974		—	
11 海老沢火星図，1957-1959		●	
12 川村多實二資料，1902-1964	—	—	
13 京都大学総合博物館蔵キリシタン関係資料，ca. 1920-2004		—	—
14 藤原元典「アリチアミンに関する研究」ノートおよび関係資料，1950-ca. 1998		—	—
15 京都府椿井大塚山古墳出土品保存修理事業映像資料，2010-2013			●
16 京都帝国大学工学部建築学教室35mmフィルム：実写 関東地方大震災，[1923]	●		
17 京都大学演習林関係資料，1928-1986		—	—
18 堀田満映像資料：映画フィルム，1960-ca. 1982		—	—
19 京都大学化学研究所「ビニロン」関係資料，[ca. 1942-1943]		●	
20 京都大学学士山岳会京都大学学術探検登山資料，ca. 1931-1970		—	
21 河合雅雄資料：霊長類学関係，1959-1975		—	
22 京都大学防災研究所伊勢湾台風高潮被害調査資料，1959，2010		●	●
23 京都大学総合博物館文化史資料：沖縄関係ガラス乾板写真，1932		●	
24 遠藤吉三郎海藻標本ガラス乾板写真，1901-1917	—		
25 京都大学考古学研究室写真：阿武山古墳調査，1934，1987		●	●
26 京都大学人文科学研究所写真：阿武山古墳調査，1934		●	
27 上山春平研究資料，1807-2002(主年代1933-2002)	—	—	—
28 増田友也建築設計関係資料，1930-1984(主年代1950-1981)		—	—
29 田中淡建築庭園写真，1967-2003		—	—
30 京都嵐山ニホンザルA群全頭捕獲調査映像資料，1971-1973		●	
31 高エネルギー粒子照射材料透過電子顕微鏡写真，ca. 1985-1997			—
32 福井謙一研究資料，1936-1988(主年代1940-1982)		—	—
33 佐藤幹夫関係資料：講義ノートおよび講義録音，1984-1986			●
34 田中正武研究資料，1929-1997		—	—
35 京都大学総合博物館古代エジプト出土資料写真，2011-2018			—
36 「近畿地方の民俗学的調査」映像資料，1933-1936		●	
37 「近畿地方ヲ中心トスル民俗調査」録音資料，1940-1943		●	

1 京都帝国大学文学部考古学教室ガラス乾板写真：石舞台古墳発掘, 1933-1935

1933(昭和8)年および1935(昭和10)年に京都帝国大学教授、濱田耕作を中心とする文学部考古学教室が奈良県と協力して実施した石舞台古墳発掘の記録写真。発掘現場だけでなく、調査の参考資料、模型、図面等の写真も含まれています。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/175/

資料番号
FoLs PIC 2010/3
所蔵部局
京都大学大学院文学研究科、京都大学総合博物館
資料年代
1933～1935年
数量
写真乾板216枚、写真画像216点、現状記録画像
650点
出所・資料作成
京都帝国大学文学部考古学教室
目録作成
2011年

2 京都帝国大学文学部考古学教室16mmフィルム：石舞台古墳発掘, 1933-1935

1933(昭和8)年および1935(昭和10)年に京都帝国大学教授、濱田耕作を中心とする文学部考古学教室が奈良県と協力して実施した石舞台古墳発掘の記録映像。当時、発掘の経過を映画で記録することは珍しい試みでした。発掘現場の動きや周囲のようすをとらえています。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/178/

資料番号
FoLs MP 2009/9
所蔵部局
京都大学大学院文学研究科、京都大学総合博物館
資料年代
1933年(撮影)、1935年(撮影)
数量
16mmフィルム1巻(白黒、サイレント、25分11秒)、
映像データ1点
出所・資料作成
福津正志(撮影・編集)、末永雅雄(撮影・編集)、京都
帝国大学文学部考古学教室
目録作成
2011年

3 京都大学カラコラム・ヒンズークシ学術探検隊地質班関係資料, 1955-1956

1955(昭和30)年の京都大学カラコラム・ヒンズークシ学術探検隊および1956(昭和31)年日パ合同探検隊(東部ヒンズークシ)に参加した藤田和夫(地質学)の野外調査による記録資料。写真を中心に、ルートマップ、探検日誌、探検隊の運営記録等があります。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/179/

資料番号
RRA MSS 2007/3
所蔵部局
京都大学総合博物館
資料年代
1940年、1942年、1955～1957年
数量
モノクロネガ収納箱1箱(ネガ151束)、カラースラ
イドファイル3冊(スライドシート21枚)、ルートマッ
プ収納箱1箱(31ファイル)、関連資料2箱(原稿や
スクラップブック、探検関連出版物など21点)、写真
画像3,965点、現状記録画像305点
出所・資料作成
藤田和夫、京都大学総合博物館
目録作成
2011年

4 宮本正太郎資料：火星スケッチ, 1955-1976

京都大学理学部附属天文台花山天文台長を務めた天文学者、宮本正太郎による火星の観測記録。横長の用紙に、手書きで火星のようすがスケッチされています。花山天文台の将来計画草稿や地学実習案内、書籍も含まれています。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/180/



資料番号
RRA MSS 2008/1

所蔵部局
京都大学大学院理学研究科(京都大学総合博物館
寄託)

資料年代
1955～1976年ほか

数量
ケース入 20 件(スケッチ 1,510 枚、資料 5 点ほか)、
スケッチ画像 1,478 点、現状記録画像 96 点

出所・資料作成
宮本正太郎、京都大学大学院理学研究科附属花山
天文台

目録作成
2011 年

5 東方文化学院京都研究所調査映画フィルム：北支遊記, 1934

東方文化学院京都研究所の研究者らによる1934(昭和9)年8月～9月の中国、北京・北京郊外・山西省大同等の調査の記録映画。2008(平成20)年、京都大学人文科学研究所で発見された16mmフィルム4巻のうちの1巻で、フィルムの劣化が激しかったところをデジタル化により映像として復元されました。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/181/



資料番号
IRHu MOV 2009/1

所蔵部局
京都大学人文科学研究所

資料年代
1934 年(撮影)

数量
16mmフィルム1巻(7・1/4inch系ブリキ缶入り、白黒、
サイレント、15分)、映像データ1点

出所・資料作成
長廣敏雄(撮影)、京都大学人文科学研究所

目録作成
2011 年

6 東方文化学院京都研究所調査映画フィルム：響堂山と龍門, 1936

東方文化学院京都研究所が1936(昭和11)年3月～5月に実施した北支史蹟調査旅行の記録映画。もともと3巻組以上の部分と推測されます。2008(平成20)年、京都大学人文科学研究所で発見された16mmフィルム4巻のうちの1巻で、フィルムの劣化が激しかったところをデジタル化により映像として復元されました。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/182/



資料番号
IRHu MOV 2009/2

所蔵部局
京都大学人文科学研究所

資料年代
1936 年(撮影)

数量
16mmフィルム1巻(7・1/4inch系ブリキ缶入り、白黒、
サイレント、残存16分)、映像データ1点

出所・資料作成
長廣敏雄(撮影)、水野清一(撮影)、羽館易(撮影)、
京都大学人文科学研究所

目録作成
2011 年

7 東方文化研究所調査映画フィルム：雲岡石窟, 1938

東方文化研究所が1938(昭和13)年4月～6月に実施した北京・山西省大同・雲岡石窟等の調査旅行の記録映画。2008(平成20)年、京都大学人文科学研究所で発見された16mmフィルム4巻のうちの2巻で、フィルムの劣化が激しかったところをデジタル化により映像として復元されました。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/183/

資料番号
IRHu MOV 2009/3

所蔵部局
京都大学人文科学研究所

資料年代
1938年(撮影)

数量
16mmフィルム2巻(7・1/4inch 系ブリキ缶入り、白黒、サイレント、計35分)、映像データ1点

出所・資料作成
水野清一(撮影)、京都大学人文科学研究所

目録作成
2011年

8 「近衛ロンド」録音テープ資料, ca. 1973-1977

文化人類学の研究者で京都大学名誉教授の米山俊直により録音され、主として京都大学人類学研究会(通称「近衛ロンド」)の例会を録音したオープンリールのテープ。他の人類学または社会学の研究会を録音したテープも一部含まれています。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/184/

資料番号
RRA ADT 2009/1

所蔵部局
京都大学総合博物館

資料年代
およそ1973～1977年

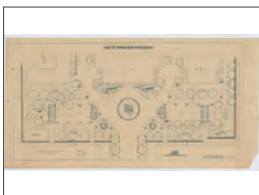
数量
オープンリール102本、録音データ204点、現状記録画像262点

出所・資料作成
京都大学人類学研究会

目録作成
2011年

9 京都大学農学部造園学研究室資料：庭園等図面, 1895-1974

京都大学環境デザイン学研究室に伝わる造園関係図面。京都帝国大学時代から現在まで実測・設計・収集されてきた造園学研究室(造園学教室)の活動成果です。第二次世界大戦前の名勝庭園を中心とする実測図や、戦後の大学研究室が造園設計発展の一翼を担ったことを示す設計図は、造園や建築分野における貴重な資料です。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/196/

資料番号
LLA PIC 2012/3

所蔵部局
京都大学大学院農学研究科

資料年代
1895～1974年(多くの資料は1930～1949年)

数量
図面208枚(デジタル化分)

出所・資料作成
京都帝国大学農学部造園学研究室、京都大学農学部造園学研究室、京都大学大学院農学研究科環境デザイン学研究室

目録作成
2013年

10 京都大学農学部造園学研究室資料：風景スライド写真, ca. 1950-1974

京都大学農学部林学科造園学講座を担当した岡崎文彬が撮影・収集した1960年代の日本全国の風景地(史跡・名勝・庭園、公園、森林、道路等)を中心とする写真です。1960年代は道路や公営住宅、観光地の開発など、造園設計の対象が拡大した時代であり、本資料には庭園の他に、これらの新しい造園設計対象の風景スライド写真が含まれます。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/197/

資料番号

LLA PIC 2012/4

所蔵部局

京都大学大学院農学研究科

資料年代

1935～1974年(撮影)

数量

スライド4,313枚

出所・資料作成

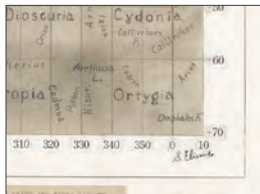
岡崎文彬、京都大学農学部造園学研究室、京都大学大学院農学研究科環境デザイン学研究室

目録作成

2013年

11 海老沢火星図, 1957-1959

海老沢嗣郎は、1907年～1956年に得られた各国の観測者達の眼視観測や写真観測および自身の眼視観測を整理し、精密な火星図を作製しました。この火星図は縦約40センチ、横約20センチの画用紙3枚で構成され、従来の模様名に加えて海老沢が考案した模様名も記録されています。当時最も精密な火星図の一つとして国際的に高く評価されました。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/193/

資料番号

AObs MAP 2012/2

所蔵部局

京都大学大学院理学研究科(京都大学総合博物館寄託)

資料年代

1957～1959年

数量

台紙に貼り付けたスケッチ3枚

出所・資料作成

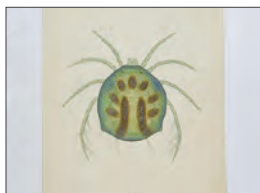
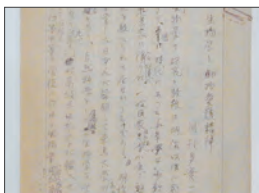
海老沢嗣郎、京都大学大学院理学研究科附属天文台

目録作成

2012年

12 川村多實二資料, 1902-1964

川村多實二は、京都帝国大学で日本初となる動物生態学を講じた人物です。この資料は、川村が退官まで勤めた理学部附属大津臨湖実験所の官舎に長らく残されていたもので、2002年、総合博物館に移管されました。『動物生態学』『日本淡水生物学』『鳥の歌の科学』に代表される自身の著作や参考書・原稿・ノート・書簡・スケッチなど様々な資料が含まれます。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/185/

資料番号

TKUM MSS 2002/7x

所蔵部局

京都大学総合博物館

資料年代

1902～1964年(多くの資料は1930～1964年)

数量

3ケース、3箱、2括

出所・資料作成

川村多實二

目録作成

2011年

13 京都大学総合博物館蔵キリシタン関係資料, ca. 1920-2004

京都大学総合博物館所蔵の宗教絵画「紙本著色聖母十五玄義・聖体秘跡図」(通称「マリア十五玄義図」)に関する、発見当時から詳細調査、修復過程までの写真記録です。この資料が発見された頃の写真を含むガラス乾板写真、国立歴史民俗博物館との共同研究で撮影した光学分析写真、2004年度の全面修復時の写真の三つの内容から構成されています。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/194/



資料番号
TKUM PIC 2011/1

所蔵部局
京都大学総合博物館

資料年代
1920～30年代、1996年度、2004年度

数量
ガラス乾板写真154枚、写真フィルム1,707枚、写真データ579点

出所・資料作成
京都帝国大学文学部、京都大学大学院文学研究科、
京都大学文学部博物館、岡墨光堂

目録作成
2013年

14 藤原元典「アリチアミンに関する研究」ノートおよび関係資料, 1950-ca. 1998

かつて日本で国民病とまで言われた脚気は、ビタミンB₁欠乏に原因があると判明しても、その吸収率やコストの問題から撲滅には至らずにいました。藤原元典は、ニンニクの成分アリシンとビタミンB₁の化合物「アリチアミン」が体内でビタミンB₁に戻り、安定して吸収されることを発見しました。この資料はそのアリチアミンに関する自筆研究ノートと諸資料です。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/195/



資料番号
MED MSS 2012/5

所蔵部局
京都大学総合博物館

資料年代
1950～1952年、1955～1998年

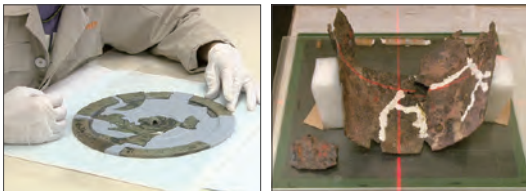
数量
研究ノート1点、関係資料のべ101点

出所・資料作成
藤原元典

目録作成
2013年

15 京都府椿井大塚山古墳出土品保存修理事業映像資料, 2010-2013

この映像資料は、2010年から2012年にかけて行われた椿井大塚山古墳出土遺物保存修理の記録映像です。京都大学では、本修理に際して、遺物が総合博物館をでるところから、公益財団法人元興寺文化財研究所で保存修理され、総合博物館にもどってくるまでの各工程を丹念に映像に残しました。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/198/



資料番号
TKUM MOV 2013/1

所蔵部局
京都大学総合博物館、京都大学大学院文学研究科

資料年代
2010～2013年

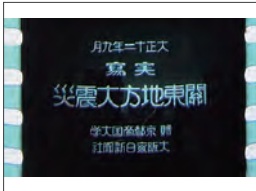
数量
記録映像データ1,141件、映像コンテンツ5件

出所・資料作成
京都大学大学院文学研究科考古学研究室、京都大学総合博物館

目録作成
2014年

16 京都帝国大学工学部建築学教室 35mm フィルム：実写 関東地方大震災, [1923]

多くの複製を生んだとされる関東大震災映画フィルムの中で本資料映像は鮮明さで群を抜きます。震災直後の都心の様子が収められ、炎と煙に巻かれていく家屋、広場に集まりひしめき合う群衆、荷物を運び出し避難する人々とその頭上に舞う火の粉まで活写され、損壊していた12階建ての浅草・凌雲閣が後日爆破処理されるシーンも含まれています。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/199/

資料番号

Ar MOV 2013/6

所蔵部局

京都大学大学院工学研究科

資料年代

1923年

数量

35mm 映画フィルム1点

出所・資料作成

大阪毎日新聞社、京都帝国大学工学部建築学教室、
京都大学大学院工学研究科建築学専攻

目録作成

2014年

17 京都大学演習林関係資料, 1928-1986

京都大学は、1945年以前は台湾、朝鮮、樺太に演習林を有し、それら「外地演習林」と国内の演習林における写真、映像等の資料を、旧農学研究科附属演習林等を統合して発足したフィールド科学教育研究センターに伝え残しています。この資料群は、大学による演習林での施業や研究、教育、経営のみならず、演習林の当時の自然環境、風俗をも伝える貴重なアーカイブ資料といえます。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/200/

資料番号

FSERC MIXED 2012/4

所蔵部局

京都大学フィールド科学教育研究センター

資料年代

1928～1986年

数量

ガラス乾板176枚、紙焼き写真(写真帳5冊、写真
232枚、保存写真カード19枚)、16mmフィルム等
50巻

出所・資料作成

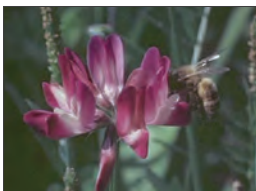
京都大学フィールド科学教育研究センター

目録作成

2015年

18 堀田満映像資料：映画フィルム, 1960-ca. 1982

堀田満(植物学)の野外調査等に際して撮影され保管されていた16mm映画フィルム群。多くは1970年代中頃から1980年代はじめにかけて撮影され、1960年のトンガ王国調査に関係する資料を含みます。主要な撮影対象は、大阪高槻、淀川、京都北山、芦生、木曽、御岳、マレーシア、ボルネオ、インドネシア、スマトラ、ザイールなどの環境、植生、生態、民俗と自然です。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/210/

資料番号

RRA MOV 2012/2

所蔵部局

京都大学総合博物館

資料年代

1960～1982年頃

数量

ダンボール箱2箱、16mmフィルム75巻

出所・資料作成

堀田満、長谷川高士ほか(撮影)

目録作成

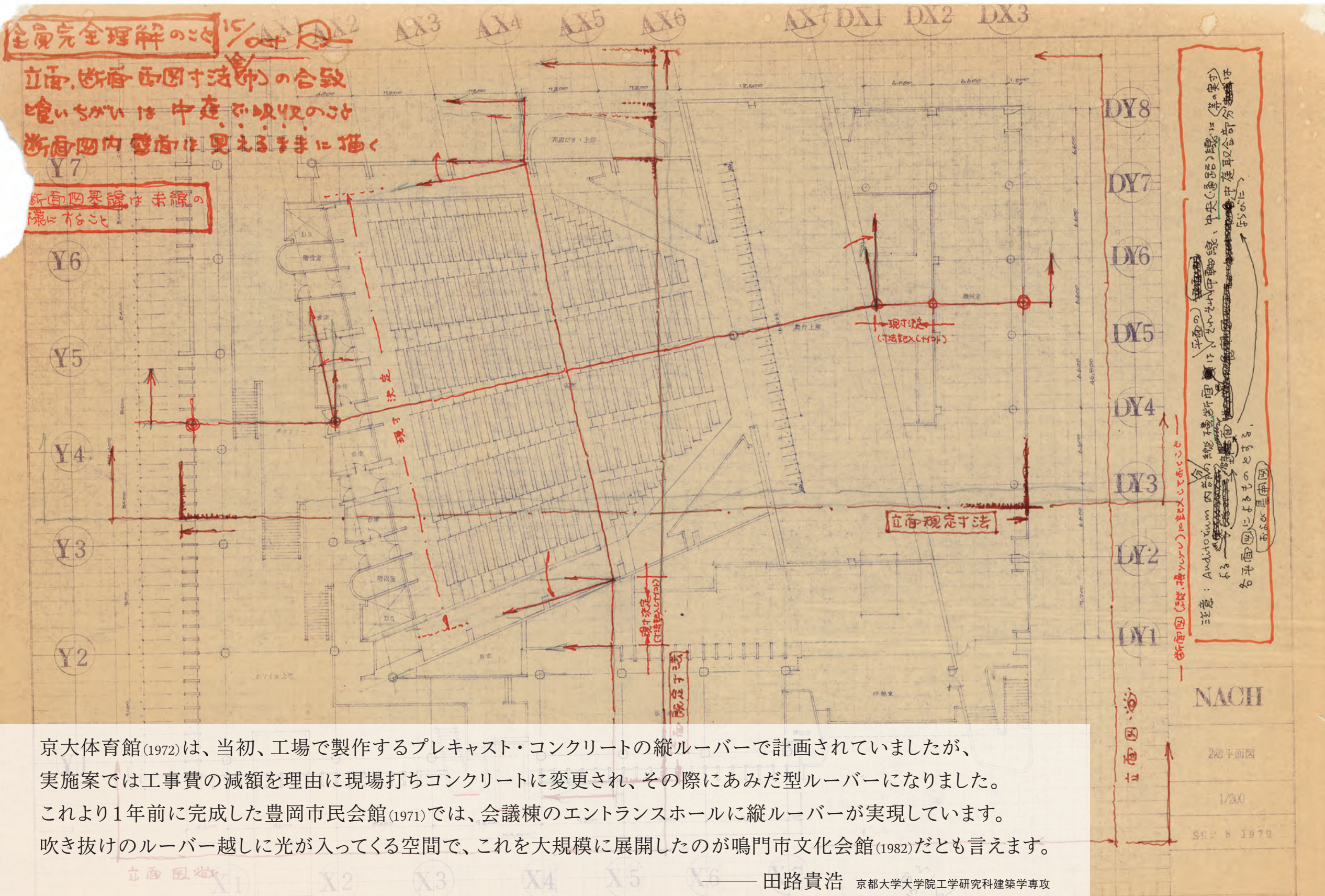
2015年



新たに移り住んできた人は以前のことをぜんぜん知らないけれど、
本当はまだ危険な場所です。
被害のあったエリアは、海拔ゼロメートル地帯が多いので、
今後も甚大な被害にあうかもしれません。
そんなことを知ってもらうには、昔の写真を現状と一緒に見せると説得力があります。

——
間瀬肇 京都大学防災研究所





京大体育館(1972)は、当初、工場で製作するプレキャスト・コンクリートの縦ルーバーで計画されていましたが、実施案では工事費の減額を理由に現場打ちコンクリートに変更され、その際にあみだ型ルーバーになりました。これより1年前に完成した豊岡市民会館(1971)では、会議棟のエントランスホールに縦ルーバーが実現しています。吹き抜けのルーバー越しに光が入ってくる空間で、これを大規模に展開したのが鳴門市文化会館(1982)だとも言えます。

田路貴浩 京都大学大学院工学研究科建築学専攻

発癌機構について早急に考察すべき諸問題. I.

1. base と base pair の energy についての正確な計算.

自らの癌の一つ原因として、DNA の polynucleotide chain の base の配列順序の error に及ぼす影響が存在するといふことは、わきわきと採用してよいと思ふのであるが、問題は abnormal sequence を惹起する原因である。24年果て Löwdin のように proton migration に及ぼす tautomeric base pair の生成に及ぼすものである。

また tautomeric form の存在比率と abnormal sequence を惹起する原因との関係について考察が必要である。通常 $\text{OH} \cdots \text{O}$, $\text{NH} \cdots \text{O}$, $\text{NH} \cdots \text{N}$ 等における OO , NO , NN 原子間隔は約 $3 \text{ \AA}$ である。水素結合の potential barrier はたかたか

この下書きは一九五〇年代か六〇年代初頭に書かれたものだと思いますが、その頃はまだがんの実態というか本質についてはわかっていませんでした。

あらゆる分野に量子化学ないしフロンティア軌道理論を使っていくという、彼の一貫性と同時に多面性が表れていると思います。

純粋理論も結構だけれど、こういうふうにも使えるんだと、自分で実践している様子がうかがえます。



重要なのは、田中先生によって生きたまま持ち帰られたさまざまな栽培植物が
現在もNBRP・コムギ事業で継承されていることです。

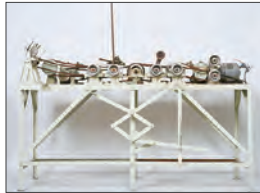
NBRP・コムギ事業と田中先生のアーカイブズとが有機的につながることで、
将来、病害抵抗性への寄与や、塩害、乾燥に強い系統の発見が期待できます。

—— 寺内良平 京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻



19 京都大学化学研究所「ビニロン」関係資料, [ca. 1942-1943]

「ビニロン」は、国内技術で初めて作られたポリビニルアルコール(PVA)を主体とする世界で2番目、日本では最初の合成繊維で、櫻田一郎教授(当時工学部、化学研究所兼任)らにより1939年に発明されました。京都大学化学研究所の伝える「羊毛様合成一号製造工場計画書」と「ビニロン紡糸実験装置」は、2012年に公益社団法人日本化学会より「化学遺産」に認定されました。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/211/

資料番号
ICR MIXED 2014/8
所蔵部局
京都大学化学研究所
資料年代
およそ1942~1943年
数量
冊子1点、装置一括
出所・資料作成
京都大学化学研究所
目録作成
2015年

20 京都大学学士山岳会京都大学学術探検登山資料, ca. 1931-1970

京都大学学士山岳会(Academic Alpine Club Kyoto)は、1931年に設立されこれまでに数々の学術探検登山派遣の母体となってきました。大興安嶺探検隊やカラコラム・ヒンズークシュ学術探検隊などをはじめとする京都大学学術探検登山資料の多くは、京都大学学士山岳会で保管されてきました。資料の中には、文書・写真・映像・学術探検登山用具などが含まれます。当時の京都大学学術探検登山の活動の軌跡を記す貴重な資料といえます。

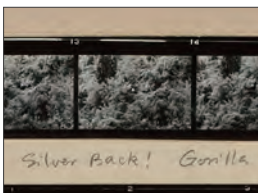


rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/212/

資料番号
AACK MIXED 2013/1
資料年代
1902~1970年
数量
全体は研究室約1室分、うち写真441枚、文書類(学内限定)289件
出所・資料作成
京都大学学士山岳会(AACK)
目録作成
2013年

21 河合雅雄資料：霊長類学関係, 1959-1975

幸島のニホンザル研究に端を発し、京都大学の研究者たちが開拓した霊長類学、その開拓者の一人、河合雅雄名誉教授のもとに残された資料。世界で初めて撮影・収録された野生状態でのマウンテンゴリラの映像、個体識別によって捉えられたゲラダヒビの社会性・社会行動、自然交配でのハイブリッドヒビについての映像・画像などを含み、調査地域であるアフリカの民俗等も記録されています。

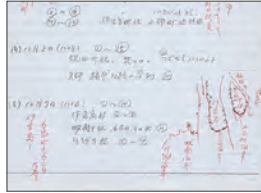


rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/214/

資料番号
SCI MIXED 2011/1
所蔵部局
個人蔵、京都大学総合博物館
資料年代
1959~1975年(調査)、主年代は1970年代
数量
ネガフィルム720本、スライド6,800枚、16mmフィルム10巻等
出所・資料作成
河合雅雄、吉場健二
目録作成
2016年

22 京都大学防災研究所伊勢湾台風高潮被害調査資料, 1959, 2010

1959年の伊勢湾台風による被災状況を調査した記録資料。おもな資料は、被災直後に京都大学防災研究所助教授の岩垣雄一が撮影した記録写真と、2010年に同研究所教授の間瀬肇が調査地を再訪して撮影した記録写真。そのほかに調査計画を綴ったフィールドノートや調査成果として作成した図表も含まれます。被災と修復の記録から約半世紀の被災地の変化を知ることができます。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/215/

資料番号
DPRI PIC 2016/01

所蔵部局
京都大学総合博物館

資料年代
1959年, 2010年

数量
35mmポジフィルム131点(スライドシート8点)、
JPGデータ197点、フィールドノート4枚、地図1枚、
35mm ネガフィルム35点(フィルムシート1点)、紙
焼き写真12枚

出所・資料作成
岩垣雄一、間瀬肇

目録作成
2017年

23 京都大学総合博物館文化史資料：沖縄関係ガラス乾板写真, 1932

京都帝国大学考古学研究室が1932年6月に実施した、琉球崎樋川貝塚遺跡、琉球瓦、琉球勾玉に関する調査の記録資料、および同年10月の同大学文学部国史研究室による沖縄九州見学旅行で撮影された集合写真等。前者は京都帝国大学文学部講師であった島田貞彦による調査時のものと推測され、一部の写真は島田が残した論文での使用が確認されています。昭和初頭の沖縄をとらえた貴重な資料群です。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/216/

資料番号
TKUM PIC 2015/3

所蔵部局
京都大学総合博物館

資料年代
1932年

数量
ガラス乾板写真92枚

出所・資料作成
島田貞彦、京都帝国大学文学部考古学研究室

目録作成
2017年

24 遠藤吉三郎海藻標本ガラス乾板写真, 1901-1917

このコレクションは、日本の海藻学の先駆者で札幌農学校(後の東北帝国大学農科大学、北海道帝国大学)教授をつとめた遠藤吉三郎博士が、海藻研究のため1911年から1914年にかけてイギリス、ドイツ、ノルウェーに留学した際に、各地の博物館に保管されている海藻標本(日本産のものや、その比較のための標本など)を撮影したガラス乾板写真です。その他に、1901年、カナダのバンクーバー島で採集した海藻標本、1917年頃までに各地で採集された生標本写真、採集場所の風景写真なども含まれます。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/217/

資料番号
FSERC PIC 2016/4

所蔵部局
京都大学フィールド科学教育研究センター

資料年代
1901~1917年

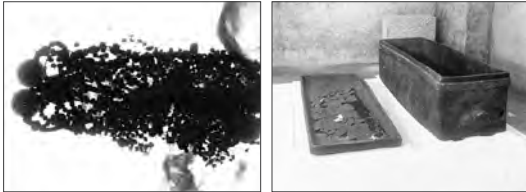
数量
ガラス乾板 177枚

出所・資料作成
遠藤吉三郎、京都帝国大学理学部瀬戸臨海研究所、
京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海
実験所

目録作成
2018年

25 京都大学考古学研究室写真：阿武山古墳調査，1934，1987

大阪府高槻市阿武山古墳の1934年の発掘調査に際し、京都帝国大学文学部考古学教室および理学部附属阿武山地震観測所(志田順博士)により撮影された写真資料。腐朽せずに出土することがきわめて稀な夾紵棺の貴重な出土状況記録であり、原資料が再埋葬されている現況において最も重要な二次資料です。また、レントゲンフィルムは日本考古学にX線が利用された最初の事例であり、学史的にもきわめて重要です。考古学研究室保管のガラス乾板14枚以外の資料は地震観測所で保管されていましたが、1982年に再発見された後、1987年に修復されました。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/218/



資料番号
FoLs PIC 2017/6
所蔵部局
京都大学総合博物館、京都大学大学院文学研究科
資料年代
1934年、1982～1987年
数量
ガラス乾板写真36枚、プリント写真13枚、レントゲンフィルム11枚
出所・資料作成
京都大学大学院文学研究科考古学研究室、京都帝国大学理学部附属阿武山地震観測所、京都帝国大学文学部考古学教室
目録作成
2018年

26 京都大学人文科学研究所写真：阿武山古墳調査，1934

大阪府高槻市阿武山古墳の1934年の発掘調査に際し、東方文化学院京都研究所の羽館易により撮影された写真資料。対象資料は、腐朽せずに出土することがきわめて稀な夾紵棺の貴重な出土状況記録で、原資料が再埋葬されている現況において、最も重要な二次資料です。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/219/



資料番号
IRHu PIC 2017/7
所蔵部局
京都大学人文科学研究所
資料年代
1934年
数量
紙焼き写真20枚、紙焼き写真貼付け台紙7件
出所・資料作成
京都大学人文科学研究所、羽館易(撮影)
目録作成
2018年

27 上山春平研究資料，1807-2002(主年代1933-2002)

哲学者の上山春平(1921-2012)による研究活動の記録。おもに1933年から2002年に作成または収集された資料で、手稿、ノート、スクラップ、複写物、書簡、写真等が含まれます。資料を区分する研究テーマ(「カント研究」「憲法草案」「照葉樹林文化」「如意寺」等)や時代(「高校時代」「大学時代」「田辺時代」「岡崎時代」等)は、上山春平の思考のあゆみを辿るヒントとなります。このうち、未刊行論考は本事業で初めて公開となる資料です。また、「人類学」や「アフリカ研究」等の1960年代の京都大学における新たな研究領域の開拓の記録や、研究者(今西錦司、牧康夫、山下正男、堀正人、田岡宏、林巳奈夫、福永光司、辻村喜一、岡村圭真)との書簡等は、個人研究の資料とは異なるかたちで、当時の研究の様子を多面的にいまに伝えます。



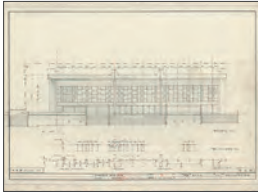
rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/220/



資料番号
FoLs MSS 2015/02
所蔵部局
個人蔵
資料年代
1807～2002年(主年代1933～2002年)
数量
約1,600件(段ボール箱20箱)
出所・資料作成
上山春平
目録作成
2018年

28 増田友也建築設計関係資料, 1930-1984(主年代1950-1981)

京都大学名誉教授で建築家の増田友也(1914-1981)が、おもに1950年代から1970年代にかけて作成または収集した資料群。スケッチ、図面、写真等からなる建築設計の記録には、建築が完成に至るまでの設計および施工のプロセスが刻まれています。長年にわたり数多の建築を手掛けた京都大学や徳島県鳴門市等の記憶もここから辿ることができます。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/1666/

資料番号

Ar MIXED 2017/2

所蔵部局

京都大学大学院工学研究科

資料年代

1938-1984年(主年代1950-1981年)

数量

設計図面約15,000点(原図205箱、青焼き冊子328冊)、写真約7,000点(アルバム38冊、紙焼き15箱)、会社記録約80点(事務文書等9箱)

出所・資料作成

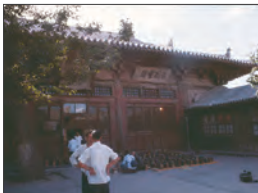
増田友也

目録作成

2024年

29 田中淡建築庭園写真, 1967-2003

京都大学名誉教授の田中淡(1946-2012)が、中国建築・造園史の研究活動において撮影した建築・庭園遺構等の写真、および野帳。本資料群は、おもに1971年から74年に文化庁文化財保護部文部技官として建造物の調査修理に携わった時期から京都大学人文科学研究所在職中の2003年までの調査研究の記録です。1970年代から1990年代に在外研究や学術訪問団で中国大陆を訪れた際の調査記録が中心で、日本、台湾、韓国、イラン、アフガニスタン、ヨーロッパ等での記録や、1960年代の学生時代の記録も含まれます。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/2294/

資料番号

IRHu MIXED 2018/2

所蔵部局

京都大学人文科学研究所

資料年代

1967-2003年

数量

ポジフィルム約32,000点、ネガフィルム約16,500点、アルバム17冊、紙焼き約4,000枚、フィールドノート31冊

出所・資料作成

田中淡

目録作成

2021年

30 京都嵐山ニホンザルA群全頭捕獲調査映像資料, 1971-1973

京都嵐山に住むニホンザルの群れは、餌づけにより増加し1966年6月に嵐山A群・嵐山B群に分裂していました。その群れのうち嵐山A群は、1972年2月に全頭捕獲調査され、米国テキサスへ移送されました。本資料は、その際の記録映像です。移送前の1971年の準備時から、移送後の1973年12月の残されたB群を映した記録を含みます。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/2428/

資料番号

CAAS MOV 2020/1

所蔵部局

京都大学アフリカ地域研究資料センター

資料年代

1971-1973年

数量

全体6本(各リール収納ダンボール箱・紙箱入)

出所・資料作成

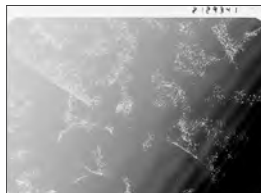
小山直樹

目録作成

2021年

31 高エネルギー粒子照射材料透過電子顕微鏡写真, ca. 1985-1997

高エネルギー粒子の材料照射実験は、材料に欠陥を導入する手段として、また照射下で使用する材料の特性試験として幅広く行われています。本資料は、金属材料を中心としたさまざまな材料に高エネルギー粒子照射を行いその後に電子顕微鏡観察した結果を記録した写真のネガフィルムで、さまざまな形態の照射欠陥像が撮影されています。幅広い実験条件を網羅するだけでなく、現在研究用等原子炉や加速器などの照射設備の運転停止や運転条件変更により実施できなかった実験条件で得られた、希少な照射材料の撮影結果を含んでいます。

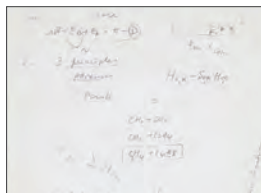


rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/2324/

資料番号
KURNS MIXED 2018/3
所蔵部局
京都大学複合原子力科学研究所
資料年代
1985～1997年
数量
写真ネガフィルム63,351枚、記録ノート62冊
出所・資料作成
義家敏正、京都大学複合原子力科学研究所照射材料工学研究分野
目録作成
2021年

32 福井謙一研究資料, 1936-1988(主年代1940-1982)

1981年にノーベル化学賞を受賞した福井謙一が残した研究および国際会議開催に関する資料群。1979年に京都で開催された「第3回量子化学国際会議 International Congress of Quantum Chemistry」の準備段階で作成された文書や書簡、おもに1950年代から80年代の研究メモと研究者との書簡、博士論文を含む手稿を含みます。とくに理論から実験にわたる広範な研究メモは、自ら研究テーマを記した封筒やファイルに分類されており、福井謙一の関心の広さと深さを資料群から知ることができます。

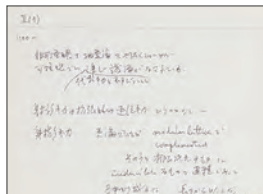


rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/2824/

資料番号
FFC MIXED 2018/1
所蔵部局
京都大学福井謙一記念研究センター
資料年代
1936～1988年(主年代1940～1982年)
数量
書簡や研究メモ等927フォルダ、手稿(論文等)16点
出所・資料作成
福井謙一
目録作成
2021年

33 佐藤幹夫関係資料：講義ノートおよび講義録音, 1984-1986

佐藤幹夫名誉教授は、代数解析学とよばれる分野を構築して、朝日賞、日本学士院賞、藤原賞、ショック賞、ウルフ賞などを受賞した世界的な数学者です。佐藤名誉教授は、ソリトン方程式のモジュライが無限次元グラスマン多様体になることを看破して、その理論を、1984年度から1985年度にかけて、京都大学で講義しました。講義録は、すでに数理解析レクチャーノートとして刊行されていますが、この資料は、その当時の講義を録音、および筆記したノートです。この講義は、多くの若手数学者を鼓舞し、その後の理論発展につながった歴史的な名講義でした。講演の録音やノートには、レクチャーノートには収録できなかった様々な話が、佐藤名誉教授の肉声とともに収められています。その意味で、歴史的な価値を持つ一級の資料です。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/3330/

資料番号
RIMS MIXED 2022/1
所蔵部局
京都大学数理解析研究所
資料年代
1984～1986年
数量
講義ノート20冊、講義録音28本、講義録編集関係資料6件
出所・資料作成
佐藤幹夫、梅田亨(筆記)、松本茂樹(録音)
目録作成
2023年

34 田中正武研究資料, 1929-1997

植物遺伝学者の田中正武が1950年代から1980年代にかけて収集作成した西南アジアや中南米等の調査研究資料。京都大学大学院農学研究科が保有管理する1万点以上のコムギ等の遺伝資源は、田中正武らが参加した京都大学等の学術探検により収集されました。フィールドノートには採集地点や生育環境が記録されており、初期の栽培について記された栽培ノートを介して、現在まで受け継がれてきた京都大学のコムギ遺伝資源に記録の紐付けが可能です。また、いくつかの写真や地図は、紛争等により現在では学術調査が難しい地域の生活や文化を伝えます。そのため本アーカイブズは、コムギ遺伝資源の原産地における育種利用などを通じて、国際交流の架け橋にもなります。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/3450/

資料番号
AGR MIXED 2021/1

所蔵部局
京都大学大学院農学研究科

資料年代
1929～1997年

数量
フィールドノート42冊、地図16点、写真81点(ポジフィルム478シート、紙焼きアルバム21冊ほか)、栽培ノート48冊、標本4点、学術論文集14点、研究資料128点、スクラップブック23冊、報告書・予稿集114点、音声資料(講義、スピーチ)10点、個人文書56点(パスポート8冊ほか)

出所・資料作成
田中正武

目録作成
2023年

35 京都大学総合博物館古代エジプト出土資料写真, 2011-2018

京都大学総合博物館が所蔵するエジプト出土資料の写真。撮影者は文化財写真家の寿福滋(1953-2019)。本写真群は、総合博物館企画展「埃及考古——ペトリーと濱田が京大エジプト資料に託した夢」(2011)の準備を契機として2011年から2018年にかけて撮影され、一部が『京都大学総合博物館考古学資料目録——エジプト出土資料』(2016)に掲載されました。このうち紙幅の都合で目録に掲載できなかった未公開アングルからの写真を高解像度カラーで閲覧ができます。撮影対象となった考古資料は、大部分が1909年から1931年にかけてエジプト探査基金(EEF)および英国エジプト考古学会(BSAE)から寄贈されたものです。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/3706/

資料番号
TKUM PIC 2020/2

所蔵部局
京都大学総合博物館

資料年代
2011～2018年(撮影)

数量
ポジフィルム170枚(4×5インチ、アルバム4冊分)、写真データ835ファイル(アルバム8冊分)

出所・資料作成
寿福滋(撮影)

目録作成
2023年

36 「近畿地方の民俗学的調査」映像資料, 1933-1936

本映像資料は、昭和8(1933)年から3年間、京都帝国大学文学部西田直二郎教授らが服部報公会の学術研究調査の援助金を得て、近畿地方の田楽・祭礼等を映画で記録したものです。全22件のうちデジタル化できたのは9件でした。戦前期の民俗学の映像記録としては、渋沢敬三とアチック・ミュージアムのメンバーによって撮影されたフィルムが知られています。本映像資料は、それと同時期に撮影された民俗学史上貴重なコレクションです。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/4273/

資料番号
FoLs MOV 2013/3

所蔵部局
京都大学大学院文学研究科、京都大学総合博物館

資料年代
1933～1936年

数量
全体23件(16mm映画フィルム)

出所・資料作成
西田直二郎、柴田実(共同研究者)、柏倉亮吉(共同研究者)、佐竹宣孝(撮影)、京都帝国大学国史研究室・国史学教室

目録作成
2024年

37 「近畿地方ヲ中心トスル民俗調査」録音資料, 1940-1943

本録音資料は、昭和15(1940)年から3年間、京都帝国大学文学部藤直幹助教授らが、日本学術振興会の援助補助金を得て、神事歌謡・古民謡等をアルマイトレコードにより採集したものです。当時既刊の町田嘉章『日本民謡集成』(日本民謡レコード頒布会, 1940)と重複しない新出音源です。



rra.museum.kyoto-u.ac.jp/archives/4408/

資料番号

FoLs SRD 2021/2

所蔵部局

京都大学大学院文学研究科、京都大学総合博物館

資料年代

1940～1943年

数量

全体129枚(アルマイト吹込盤レコード)

出所・資料作成

藤直幹、平山敏治郎(共同研究者・録音者)、京都帝国大学国史研究室・国史学教室

目録作成

2024年



京都大学研究資源アーカイブ

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館

E-MAIL : kurra-info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

URL : <https://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/>

2025年7月10日 発行

本ガイドの情報は、予告なく変更されることがあります。